



スギ花粉症 でお悩みの方

舌下免疫療法 をご存知ですか？

舌下免疫療法とは、アレルギー免疫療法の1つで、**アレルギーを含む治療薬を舌の下に滴下することでスギに対する免疫力をつけ、症状を和らげていく治療法**です。この治療は長く続けるほど効果が期待でき、30%が完治、50%が症状が軽くなると言われています。当院では**11月より耳鼻咽喉科で開始**いたしました。

期待できる効果

鼻水、くしゃみ、鼻づまりの改善／目のかゆみ、涙目の改善／抗アレルギー薬の減量など

治療について

対象：スギ花粉症と診断された方

年齢：12歳から65歳まで

開始時期：6月から12月（非飛散期）（少なくとも11月から開始が望ましいです。）

服用方法：1日1回舌下に滴下し、2分間保持後、飲み込む。その後、5分間は「うがい・飲食」を控える。

副作用について：次のような症状が起きる場合があります。（約10～30%）

口の中の症状／舌の腫れ、口腔内の腫れ、口内炎、咽喉のかゆみ／耳のかゆみ／頭痛／腹痛、下痢などの消化器症状

※アナフィラキシーの報告は1億回の投与で1回の頻度で起こると言われています。



診療概要

担当科：耳鼻咽喉科（高校生～65歳まで）／小児科（12歳～中学生まで）

診療日：月～土曜日 受付時間8:00～11:30（土曜日は11時まで）

◆治療にあたっての注意事項

- ・服用前後2時間は「激しい運動、アルコール摂取、入浴」を避ける。
- ・スギ花粉の非飛散期でも、治療薬の服用を毎日継続する。
- ・少なくとも1か月に1度の受診が必要です。
- ・すべての患者さんに効果が期待できるわけではなく、約20%は効果が認められないと言われています。
- ・効果があっても服用終了後、効果が弱くなることがあります。
- ・アナフィラキシーなどの副作用がゼロではありません。
- ・万能薬ではないので、抗原回避は行う。
- ・花粉症飛散期（1月～ゴールデンウィーク頃まで）は開始できません。
- ・効果が出るまで最低2～5年程度かかります。

・下記の方は治療を受けられません

- ☐ β阻害薬使用中
- ☐ 不安定な気管支喘息患者
- ☐ 全身ステロイド薬の連用や抗がん剤使用者
- ☐ 重度の口腔アレルギー症候群
- ☐ 急性感染症に罹患している
- ☐ 発熱を伴う感冒など

ご希望の方は耳鼻咽喉科・小児科 外来までご連絡ください。

連絡先 042-761-6020(代)

相模原協同病院 病院長